



いちかわみさと 議会だより

第36号

2014年8月1日 発行



●涼をもとめて四尾連湖畔

平成26年
6月定例会

● 条例の改正	2
● 平成26年度一般会計補正予算	3
● 常任委員会報告	
認知症サポーター養成講座受講	4～5
● 6議員が一般質問	6～11
● 組合議会報告	12～13
● 請願・人事	14
● 審議結果・討論	15
● みんなのページ	16

条例の改正・4件

平成26年第2回定例会は、6月5日から20日までの16日間にわたり開催されました。

今定例会では、平成25年度一般会計・特別会計補正予算など専決処分9件、条例改正や平成26年度一般会計・特別会計補正予算など16議案、および請願3件が提出され、いずれも原案のとおり可決、承認・採択されました。

町税条例等中改正

地方税法の一部を改正する法律などが、平成26年4月1日から施行されることに伴い、町税条例の一部を改正。

町国民健康保険税条例中改正

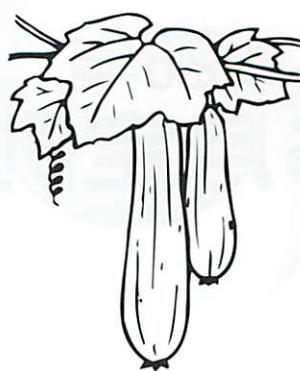
地方税法の一部を改正する法律などが、平成26年4月1日から施行されることに伴い、国民健康保険税条例の一部を改正。主な改正点は、後期高齢者支援金分及び介護給付金分の課税限度額の引き上げと軽減対象世帯が拡大されます。

町都市計画税条例中改正

地方税法の一部を改正する法律などが、平成26年4月1日から施行されたことに伴い、町税条例の一部を改正。部を改正。

町税条例等中改正

地方税法の一部を改正する法律などが、平成26年4月1日から施行されたことに伴い、町税条例の一部を改正。(主に①法人税割の引き下げに伴う措置・平成26年4月1日施行②軽自動車税の税率改正に伴う措置・平成27年4月1日施行)





平成26年度 一般会計補正予算

(万円未満は四捨五入)

収入支出の補正額は

補正額 5,265万円

総額 88億7,521万円

収入のおもな内訳は

地方交付税	479万円
国庫支出金	3,652万円
県支出金	921万円
諸収入	1,063万円
町債(借入金)	△850万円

おもな使いみち

総務費

インターネット光ケーブル
修繕追加 450万円

消防費

消防詰所設計業務委託料 194万円
消火栓設置・改修工事費追加 240万円

民生費

国民健康保険特別会計
繰出金追加 602万円
臨時福祉給付金事業費追加 1,366万円
つむぎの湯水中ケーブル等修繕費 800万円

教育費

市川公園グラウンド改修工事費 503万円
三珠中学校屋内運動場等屋根
改修工事費追加 788万円



三珠中学校屋内運動場

衛生費

大雪に伴う住宅等建築物に関する
廃棄物処理費補助金 116万円
老健施設起債元本償還分負担金 3,198万円

農林水産業費

農業協力隊推進事業委託料 477万円
被災農業者向け経営体
育成支援事業補助金 577万円
活力ある水田農業支援事業費補助金 853万円

災害復旧費(雪害)

三珠保育所屋根雪害復旧工事 248万円
健康管理センター屋根雪害復旧工事 266万円
市川小学校渡り廊下屋根雪害復旧工事 192万円
市川南小学校屋根樋雪害復旧工事 192万円

報告

質疑の一部を
要旨のみ掲載します

企画課長 来町者へのおみやげとして渡している。今後ふるさと納税を含め検討していく。

伊藤企画課長 今回は、農産物としてJAにお願いした。



市川公園グラウンド

企画課長 のつぶいの商品、地場産業の商品も今後検討していくのか。

いきいき健康課長 耐用年数はどの位か。また、もっと早く対応する事は出来ないか。

町民課長 検査委託料の追加で、これまでの制度に何らかの変化はあるのか。

小林町民課長 内藤先生が三珠診療所に就任したが人件費の計上は、中でできるので計上はない。



三珠診療所

がん、乳がん検診については5年が過ぎ、26年度から新たに対象外となる。今年度新たに対象になつた方には引き続きクーポン券を発行する。

総務教育

開催日
6/10

問 軽自動車税が増税されるがどの位増収があるか。

石原税務課長 27年度2輪車等は、2,619台で28

7万4千円の増額になる。28年度からは、4輪の軽自動車984台が加わり617万円の増額となる。29年度からは重課が、かかるので増収が見込めます。

問 消防団詰所は当初で計画すべきではないのか。

町長 場所の選定に苦慮したが今回めどがたつた。

問 手話奉仕員養成事業で対象者は誰で何名か。

一瀬福祉支援課長 本町と富士川町の一般住民で30名を対象としている。本町では13名が受講している。

がん、乳がん検診については5年が過ぎ、26年度から新たに対象外となる。今年度新たに対象になつた方には引き続きクーポン券を発行する。

厚生

開催日
6/12

問 整備工事は、どの位前に行つたか。

河西生涯学習課長 主にスポーツ少年団で、土日、祭日使用している。

生涯学習課長 成であります。平成元年に台風の被災時に大規模な改修を行つた、その後は行つていません。

問 つむぎの湯で、800万円の修繕費追加があるが当初予算の920万円の水中ポンプ入れ替えとの関連は。

網倉いきいき健康課長 水中ケーブルの絶縁状況が悪い報告が3月にあつた。11年経過し入れ替えである。

問 手話奉仕員養成事業で対象者は誰で何名か。

一瀬福祉支援課長 本町と富士川町の一般住民で30名を対象としている。本町では13名が受講している。

がん、乳がん検診については5年が過ぎ、26年度から新たに対象外となる。今年度新たに対象になつた方には引き続きクーポン券を発行する。

常任委員会



トンネルハウス

問 雪害にあったトンネルハウスのパイプ、ビニールを在庫品で復旧したが、補助金及び交付金は出るか。

丹沢産業振興課長 県単事業であり領収証、写真等の添付をし申請してもらう。

産業振興課長 国庫補助事務であり現状回復が、原則で復旧したいが対象になるか。

産業振興課長 工事が倒壊したので軽量鉄板で復旧したいが対象になるか。

問 大型ビニールハウスであつたが倒壊したので軽量鉄板で復旧したいが対象になるか。

問 下水道工事の今後の予定と、進捗状況は。

内藤生活環境課長 整備率は84・3%である。

生活環境課長 26年度中に開通となり27年度に設計、工事は28年度からである。鰍沢駅前地区も同様である。

問 雪害にあったトンネルハウスのパイプ、ビニールを在庫品で復旧したが、補助金及び交付金は出るか。

丹沢産業振興課長 県単事業であり領収証、写真等の添付をし申請してもらう。

問 大同地区は、黒沢交差点まで終っている、残りはバイパス工事終了後か。

問 大同地区は、黒沢交差点まで終っている、残りはバイパス工事終了後か。

問 歌舞伎文化公園ふるさと会館の専決処分した工事は終了したのか。

産業振興課長 終了している。今回の補正は民俗資料館の屋根の修繕である。

土木環境

開催日
6/17

地域で見守ろう 認知症サポーター養成講座

議員全員が受講しました

認知症とは？

認知症の人への接し方は？

私たちが地域でできることは？



オレンジリングを受け取る

認知症サポーターは、認知症を理解し、それぞれが支援する2時間ほどの養成講座で、症状や治療法、認知症患者を見かけた場合の接し方などを学び、サポートの証となるオレンジリングを受け取る。

高齢化が進行し地域に認知症高齢者が増加している状況を受け、厚生労働省では、平成17年度から「認知症を知り地域をつくる10年」キャンペーンを開始し、キヤンペーンの一環である「認知症サポーター」を多数養成し、認知症になつても安心して暮らせるまちを住民の手によってつくっていくことを目指している。

・顔写真は年一回の掲載
です。

コミュニティバスの運行見直しを

一瀬 正議員

—利用者の利便性を検討する—

問 市川三郷病院と富士川病院間を運行しているシャトルバスは、途中停車されず、高齢者の多くが不便を感じている。町内を巡回しているコミュニティバスの運行順路、停留所等を再検討し、富士川病院への通院を容易にしてはどうか。

町長 病院間を無償で走るシャトルバスの運行は早期の実現だった。今後は、地域公共交通会議等々で十分議論していただき、取り組んでいく。

問 生活習慣病防止のためには運動、体力づくりが重要な要素。有酸素運動を、生活習慣病予防事業と位置づけ、いきいき健康課の事業として実施したらどうか。

町長 いきいき健康課、生涯学習課、町民課の連携をさらに深め具体的にはどういう施策をどのように展開できるかということについて検討する。

問 重度心身障害者医療費窓口無料化廃止に対して、町独自での窓口無料化の継続を求めるが、町長の方針は。

町長 福祉支援課はじめ担当課など、さらに努力して最善が尽くせるように取り組む。

問 豪雨のときに避難できる高い建物を一時避難所としての設定と避難訓練が必要と思うが。

町長 十分な、万全な訓練や対策をしっかりと立て、全力で取り組んでいく。来年度は市川地区において訓練を予定している。

問 本町に居を構える新婚さん、また新家庭に結婚祝い金を支給したらどうか。

町長 若者が定住できる魅力ある町として発信できるよう検討する。

問 人口増加策の取り組みは。

町長 現在、空き家バンク登録制度、子育て支援の充実等、各種補助をしてきた。人口対策に視点を置き取り組んでいく。

問 人口増加策の取り組みは。



コミュニティバス停留所



住民サービスの向上を!

高尾 貫 議員

——町民の意見を反映していく——



役場前線南進道路

問 都市計画マスター・プランにより、道路交通面では、河川前進している。しかし、町民サービスは不透明な面もある。町民参加の機会をつくりアンケートや意見を聴く中で、マスター・プランに検討を加え町民サービスの向上につなげられないか。

町長 マスター・プランは、町づくりの基本的な方向を示すものとして、計画時より町民の意見を反映しながら進めてきた。今後も、町民主体のまちづくりを基本に、町の活性化に向け、効率化・効果的な整備に取り組んでいく。

問 土地の利活用と良好なインフラ整備として、河川改修や中部横断道、リニアなどの残土を利用し、道路の整備や防災公園。さらに、リニア開通時に県外の方を受け入れる対策が必要では。

問 土地の利活用と良好なインフラ整備として、河川改修や中部横断道、リニアなどの残土を利用し、道路の整備や防災公園。さらに、リニア開通時に県外の方を受け入れる対策が必要では。

町長 社会資本整備は重要である。政策上必要な事業は計画的に取り組んでいく。

町長 残土についても、現在のところ具体的な計画はないが、検討していく。

問 土地の利活用と良好なインフラ整備として、河川改修や中部横断道、リニアなどの残土を利用し、道路の整備や防災公園。さらに、リニア開通時に県外の方を受け入れる対策が必要では。

問 土地の利活用と良好なインフラ整備として、河川改修や中部横断道、リニアなどの残土を利用し、道路の整備や防災公園。さらに、リニア開通時に県外の方を受け入れる対策が必要では。

問 都市計画道路・生活道路の整備について

①狭い道路の整備は。

町長 道路後退にかかる用地提供の場所から拡幅整備を進めている。

②役場前線南進道路計画から7年が経過したが、どのように受け止めているか。

町長 住民の理解が得られないなど、大きな問題がいくつかあり、時間が必要と判断した。

③立ち退き補償費用や代替地の確保計画は。

町長 代替地の用意がなく、十分な計画が作られていないかった。

問 急傾斜地等の危険災害対策は。

町長 本町の指定状況は、急傾斜地の崩壊175区域、うち特別警戒区域174、土石流94区域・うち特別警戒区域72、地すべり85区域、合計354区域である。この指定に伴い、危険度・規模等の採択基準により対策工事を実施している。

問 市川高校100周年を迎える。

町長 地元の高校を選択するような環境づくりを行い、存続に向けた取り組みを行なってきた。また、任意団体と連携を図ってきたが、現在は、活動が途絶えている状況である。今後の動向を注視し、関係する各会へ働きかけ、存続する取り組みを積極的に行っていく。

自主防災組織の強化を

笠井雄一 議員

――さうに、育成強化に努める――

問　自主防災組織の育成と強化について

本町の自主防災組織数と自治会に対するカバー率はどれくらいか。

町長　本町の自主防災組織数は52でカバー率は96・3%である。

問　今年から35年度まで、10年間徴収される災害税の活用は。

志村総務課長　緊急防災施策や、減災施策の財源として活用する。

問　防災力強化は町民一人ひとりの危機管理意識の共有が重要である。

町長　防災意識の向上に町としては、どのような取り組みがされているか。

町長　昨年度、町内5地区に職員が出向き、防災出前講座を実施、本年度もすでに3地区実施。

本年度山梨県において、自主防災組織・活性化特別事業を実施。自主防災組織の活性化を図るため、防災リーダー養成講座修了者を自主防災組織に派遣していくこととする。

問　災害時要援護者支援について避難所運営は、どの様になつているか。

また、避難所運営委員会などの設置と規定など定めてあるか。

町長　これまで行政が主体的に行なうことが想定されていた。行政による避難所運営は難しく、地域住民が避難所運営に関わることで円滑にできる。

6月1日、三珠・川浦地

区で土砂災害避難訓練を行い、地域住民による避難所の開設、運営を体験していただいた。要援護者に配慮した「避難所運営マニュアル」を作成し、避難所運営委員会の活動についても規定する。



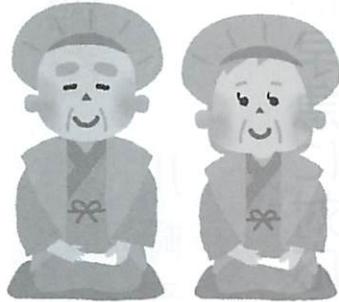
土砂災害避難訓練



長寿、医療費給付金支給要綱制定の意義は

内藤 優 議員

——健康で安心した生活を送れるように——



問 給付金支給制度と医療費の公費負担という公約のかかわりと、福祉政策の理念についての考えは。

町長 「高齢者が生きがいを持って健康で安心した生活を送れること」を思い、全国に先駆け実施するとしたが、さまざまな観点から検討を行い88歳以上の高齢者に月額3千円を支給する「長寿、医療費給付金要綱」を制定し実施した。

町長 高齢者にとって、一年は尊い時間である早く実現したい思いはあった。新しいシステムの構築、諸問題の中での畏敬の念という感謝の気持ちを早く表したく実施に踏み切った。



問 医療費助成の問題が、常に難しい事は理解した。
対象者700名以上、給付金3,000万円が予算化された。公約の一つが実現したと思うが、そのへんの考え方。

町長 当初予算に「長寿医療費給付金」支給制度のためのシステム費用250万円を計上している。

小林町民課長 732人、受理件数は667人で約91%であり、4月・5月分を6月末日の支払いになつている。

問 煩雜な事務処理だけではなく基本に基づく施策の難しさがある事が理解出来た。これをクリアするために、今後も継続的に努力していく新システムを開発し、そちらの方向を探るという事でよろしいか。

問 全国に先駆け実施する精神は高く評価する。高齢者も強い関心を持っている。対象者は何人で、現在何人が受付済か。

駐輪場の整備を

川崎 充朗 議員

—白線は早急に対応する—

問 野良猫に餌付けを行う行為で被害が増えてきてるが罰則条例を追加し、指導強化を。

町長 飼い犬等による危害を防止する条例に5万円以下の過料が課せられており、

ふん尿等の適正な処理、周辺の清潔維持が規定されてる。野良猫等を規定する法律、及び条例は現在ないが、野良犬・野良猫に対し、餌付けしているなどの情報が入り次第、保健所と連携し対処している。

町長 駐輪場の屋根を設置することで、突風等による自転車の横倒し防止、放置自転車の減少にも効果があると考え、今後検討していく。

問 甲斐岩間駅構内、駐輪場の白線が消えてしまい、駐車する位置の区別が明確でなく放置状態であるが、改善を。

町長 駐輪場の区画の白線は、早急に対応したいと考えている。

問 台風や突風が吹き、1台が倒れると連鎖し、全部倒れて車の移動や、利用者の通行に支障があり、屋根の整備が必要と考えるが。



甲斐岩間駅構内駐輪場



問 JR身延線の葛籠沢踏み切りが車両通行止めとなつていて、住民は不便を感じている。農作業用の軽トラック・トラクター等の通行が可能になるよう、整備改修を。

町長 六郷インターチェンジアクセス道路と町道宮原一本松広場線がつながることにより、甲斐岩間駅前や県道を通らずに、宮原地区から下木戸に行けるようになるので葛籠沢踏切閉鎖について理解をいただきたい。

地域包括ケアシステムの体制づくりは、

宮崎 博巳 議員

——住民との連携を強化していく——

問 生活困窮者自立支援法が成立、総合相談窓口を含め、どのような体制で支援を行っていくのか。

町長 峠南保健福祉事務所と十分な連携のもとに、早期発見把握を行い、障害者施策の活用、防ぐための支援を行っていく。

問 複数の窓口への相談をワンストップ体制で対応を。

一瀬福祉支援課長 包括支援センターで総合的相談を行っていく。各課もきちんと対処するようにしている。

問 地域包括ケアシステムが、来年度からスタートするが、高齢者が地域で安心して生활していく体制づくりは。

町長 医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供するもので、※2025年問題の最重要課題として、認知症高齢者の生活を支えるためのシステムの構築が必要である。

予防事業として、運動器機能維持、機能向上教室等を実施しており、在宅医療介護連携等の取り組みを本格化していくために、府内部署と、町内関係組織との連携を強化する。

問 地域ケア会議のメンバーは。

福祉支援課長 包括支援センターを中心に、ケアマネージャー及び町内の医師会全員にサポート医として協力の承諾を得ている。

石原教育委員長 町では平成21年度から、4ヶ月検診時に絵本2冊をプレゼントを実施、図書館職員による読み聞かせや、保育所への定期巡回も行っている。増配布は今後検討する。

問 セカンドブックの導入状況は。

福祉支援課長 65歳以上全員に行い、分析結果を策定委員会に反映していく。

問 認知症予防のニーズ調査の結果は。



福祉支援課 相談窓口

※2025年問題
団塊の世代が75歳以上となる。

の 報 告

中巨摩地区広域事務組合

3月定例会 3月28日

提出された案件は、条例の制定・改正4件、25年度一般会計等補正予算6件、26年度当初予算6件、公平委員の選任など17議案は、原案のとおり可決・同意されました。

条例では、組合職員の再任用と定年に関する制定と一部改正です。また、電気料値上げに伴い、一般廃棄物の処理手数料の一部改正です。ゴミ処理事業特別会計においては、廃棄物処理施設の工事費等で1億4,805万円を計上されました。

平成26年度当初予算の総額は、36億5,946万円で前年度比49.1%の増額となりました。

(報告 松野清貴)

(円未満は四捨五入)

平成26年度予算

一般会計	4,085万円
ゴミ処理	32億9,482万円
地区公園	888万円
老人福祉	2,813万円
勤労青年センター	4,983万円
し尿処理	2億3,696万円
本町の負担金	9,671万円

峠南広域行政組合

第1回定例会 3月26日

提出された案件は、専決処分、条例の制定2件・改正4件、25年度一般会計等補正予算3件、26年度当初予算3件の13議案は、原案のとおり可決・承認されました。

専決処分では、老人ホームの滅菌器の更新等の計上でした。

条例においては、基金の創設と各基金の条例を整備するための制定。また、消費税引き上げに伴う手数料額の引き上げを行う改正でした。

平成26年度当初予算では、前年度より24.3%の増額となりました。

委員会委員の選任、条例改正、契約締結、人事案件2件が提出され、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

また、監査委員には、本町の岸本正幸氏が選任されました。

(報告 村松武人)

(円未満は四捨五入)

平成26年度予算

一般会計	18億9,195万円
介護保険事業	2億2,896万円
ふるさと市町村事業	2,423万円
本町の負担金	3億7,818万円

第1回臨時会 5月19日

組合議会

三郡衛生組合

第1回定例会 3月27日

提出された案件は、26年度一般会計予算、し尿処理・火葬事業、特別会計予算の3議案は、原案のとおり可決されました。

し尿処理事業特別会計では、前年度より8,486万円の減額となりました。

歳出においては、保守点検費7,723万円、防食補修工事費2,740万円等が計上されました。

火葬事業特別会計については、前年度より9,785万円の増となり、その内容は炉監視システムの更新などです。

(報告 宮崎博巳)

(万円未満は四捨五入)

平成26年度 予算	
一般会計	1,798万円
し尿処理事業	2億4,726万円
火葬事業	2億 461万円
本町の負担金	5,634万円

峡南衛生組合

第1回定例会 3月24日

提出された案件は、25年度一般会計補正予算、26年度当初予算の2議案で、原案のとおり可決されました。

26年度当初予算では、前年度より2,580万円の減額となりました。

歳出においては、職員1名増やホームページ作成の委託料、トイレ改修工事等により473万円の増額になりました。

また、し尿処理費では718万円が増額となり、主な内容は活性汚泥浮遊物の測定器設置工事費等が計上されました。

(報告 内藤 優)

(万円未満は四捨五入)

平成26年度 予算	
一般会計	3億9,672万円
(し尿処理事業)	7,102万円
(ゴミ処理事業)	2億6,931万円
(火葬事業)	2,139万円
本町の負担金	4,057万円

峡南北部二病院統合事務組合

第1回臨時会 3月27日

審議された案件は、専決処分、契約締結、25年度組合会計補正予算、条例等の制定30件、26年度峡南医療センター企業団会計予算の34議案は、原案のとおり可決・承認されました。

専決処分では、網膜の状態を調べる眼科光干渉断層計・手術室に画像表示モニター等の予算計上でした。

条例の30議案は、企業団運営に必要な条例制定がありました。

(報告 小林一史)

請願 3件

◎採択

「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための意見書」の提出を求める請願

請願人

生活協同組合パルシステム山梨

理事長 白川 恵子

甲府市上条町225-1

生活クラブ生活協同組合山梨

理事長 中野 裕子

甲府市増坪町447

特定非営利活動法人

スペースふう

理事長 永井 寛子

南巨摩郡富士川町

天神中条177

特定非営利活動法人

みどりの学校

理事長 芦澤 公子

甲府市宮原町90-2

紹介議員

高尾
三神
貞雄
貫



◎採択

「医療・介護総合法案」撤回と安心できる介護制度を国に求める意見書に関する請願

請願人

山梨県社会保障推進協議会

会長 上所 洋

甲府市丸の内2-9-28

勤医協駅前ビル6階

紹介議員

三神 一瀬 優
貞雄 正

いざれも採択され、関係機関へ意見書の提出を決定しました。

◎採択

手話言語法(仮称)の早期制定を求める請願

請願人

市川三郷町聴覚障害者協会

会長 一瀬いとこ

市川大門4-15

紹介議員

秋山 詔樹
松野 清貴

人権擁護委員
池川 良人氏

山保2559

人事

議会傍聴に お出かけください

次回定例会は9月に予定されています。

傍聴の定員

本会議 30人 委員会 各8人

◆6月定例会の傍聴実績(のべ人数)
本会議 40人 委員会 5人

◆会議録検索システム利用件数
1月から6月まで 3,024件

◆お問い合わせ
議会事務局 TEL055-272-1108

市川三郷町税条例等中改正 討論

審議結果

◎第2回定例会（6月5日～20日）		結果
・町税条例等中改正の専決処分	承認	全会一致
・都市計画税条例中改正の専決処分	承認	全会一致
・国民健康保険税条例中改正の専決処分	承認	全会一致
・平成25年度一般会計補正予算(第14号)の専決処分	承認	全会一致
・介護保険特別会計補正予算(第6号)の専決処分	承認	全会一致
・介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分	承認	全会一致
・簡易水道特別会計補正予算(第7号)の専決処分	承認	全会一致
・平成26年度一般会計補正予算(第1号)の専決処分	承認	全会一致
・歌舞伎文化公園管理特別会計補正予算(第1号)の専決処分	承認	全会一致
・町税条例等中改正	可決	賛成多数
・一般会計補正予算(第2号)	可決	全会一致
・国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
・介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
・訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
・簡易水道特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
・公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
・歌舞伎文化公園管理特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致
・後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
・町道路線の変更	可決	全会一致
・一般会計補正予算(第3号)	可決	全会一致
・国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致
・後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致
・町道矢作上野線三珠跨線橋上部工製作工事請負契約の締結	可決	全会一致
・町道路線の認定	可決	全会一致
・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める	適任	全会一致
・手話言語法(仮称)の早期制定を求める意見書の提出	可決	全会一致
・容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の提出	可決	全会一致
・「医療・介護総合法案」撤回と安心できる介護制度を国に求める意見書の提出	可決	全会一致

医療・介護の後退が問題になつて いるように、福祉のためではなく、 法人税減税の補填に消費税が使わ れていることは、法人税の引き下げか らも明らかである。

町民税として徴収する割合が 2.6% 引き下げられるが、地域間の税源の 遍在性を是正し、財政力格差の縮小 を図るために行うもので、地方交付 税により補填される。課税徴収され る負担額が有意義に反映されること を信頼し、賛成する。

(賛成16・反対1)

(反対) 一瀬 正 議員

(賛成) 川崎 充朗 議員

(反対) 宮崎 博巳 議員

(賛成) 一瀬 正 議員

生活支援や介護予防、在宅医療や 介護サービスを充実させ、高齢者が 住み慣れた地域で医療や介護を一体 的に受けられる体制づくりを目指し、 新たな基金の創設や地域包括ケアシ ステムの構築など医療・介護の連携 強化を推進するもので、限られた医 療・介護資源を有効に活用し、必要 なサービスを確保していくために必 要と考え反対する。

入院患者を強引に「在宅」に押し戻 し、「要支援者」「軽度者」への在宅サ ービスを後退させ施設にも入所できない など、給付削減のため、公的保険で医療・ 介護を受けられる人を限定する発想 で「介護難民」「漂流患者」は増え るばかりである。これらのことから 賛成する。

(賛成11・反対6)

■「医療・介護総合法案」撤回と安心できる
介護制度を求める意見書に関する請願

原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字詰め原稿用紙1枚以内、氏名(区名)・顔写真の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ：議会事務局 TEL055-272-1108

みんなのページ



こども館 友優学童クラブ

こども館友優学童クラブは、富士見保育所の2階に子育て支援センターと併設されています。

小人数ですが、赤ちゃんやお母さんとのふれあいもある家庭的な雰囲気の中で子どもたちは過ごしています。地域の特色として外国の子どもたちが多く、国際色豊かな場所です。

小学校から遠いので、毎日長い道のりを頑張って登下校して足腰が鍛えられるせいか、運動会のリレーの選手にえらばれる子どもも多いようです。外遊びは保育所の園庭で、遊具や砂場などもあり恵まれた環境の中で、時折保育所の小さなお友だちとも一緒に遊んだりもします。

このように、地域の方々や保育所の先生方、そして保護者の皆さんに温かく見守られながら、仲間と共に過ごす中で成長していってほしいと願っています。



元気にハイポーズ!!

議会広報編集特別委員会
委員長 市川雄一
副委員長 笠井朝嗣
委員 佐野勝也
委員 高尾充朗
委員 川崎有希
委員 宮崎希
委員 有泉

議会の様子をわかりやすく知らせる「議会だより」にするために努力してまいります。
(記 有泉)

本代表は、未勝利のまま4年に1度の世界のスポーツ大会では期待を集めた日本代表は、未勝利のまま一次リーグで敗退しましたが、私たちに感動を与えてくれました。これから活動に大いに期待します。

ボーリング祭典サッカー(ワールドカップ)ブラジル大会では期待を集めた日本代表は、未勝利のまま一次リーグで敗退しましたが、私たちに感動を与えてくれました。これから活動に大いに期待します。

今年は異常気象で、寒暖の差が激しい日々が続いている。農作業に携わっている方は、作物の生育に心を痛めているのではないでしようか。

編集後記